

ドコモとダイードリンクが『自動販売機の基盤を活かした 5G 基地局』によるサービスエリア提供を 2020 年内に開始

株式会社NTTドコモ関西支社（以下、ドコモ）とダイードリンク株式会社（以下、ダイード）は、ダイードの自動販売機の上に 5G アンテナ（sub6:3.7GHz 帯）を設置し、5G 携帯電話向けのサービスエリア拡充を 2020 年内にサービス開始します。自動販売機の基盤を活かした「自動販売機の 5G 基地局化」によるサービスエリアの提供は、日本初^{※1}となります。



設置予定の 5G 基地局アンテナ（本自動販売機は PR 用のものです）

5G サービスの展開拡充するために、スモールセル基地局^{※2}用のアンテナ増設が必要とされるなか、建物の屋上や壁面は設置場所が限定されることが、街の景観を損ねることが課題となっています。また、突発的な基地局需要に、どこにでもある自動販売機を使うことで、早期対応可能になる見込みがあります。そして、『お客様にとってより身近な存在として自販機の新たな価値を提供することが可能となる』といったダイードの想いとも一致し、今回ドコモとダイードは、共同構築に至りました。

さらに両社は、今後（2021 年度以降）も自動販売機の 5G 基地局化の拡充に向けた共同構築を予定しており、5G サービスのさらなるお客様満足度向上に努めていきます。

※1 ドコモ・ダイード調べ

※2 主に高トラフィックエリアに、通常基地局のエリア内に設置する、小さなサービスエリアを構築する基地局